

# 医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 50 号

2009 年 11 月 25 日

日本医労連増員闘争本部

TEL: 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

10 月 22 日、日本看護協会の呼びかけにより、日本医労連も参加した意見交換会が FAX リリース(No.37)で配信されました。

## ○労働組合との意見交換会 労働問題の解決へ連携を強化



協力を呼び掛ける久常会長

日本看護協会は 10 月 22 日に、労働組合 3 団体を招いて、確保定着推進事業や看護の労働問題に関する意見交換会を実施しました。

冒頭のあいさつで、本会の久常節子会長は「日本のように 3 交代でありながら、これだけの超過勤務をしているのは世界でも例がない。夜勤交代制勤務と給与の問題、長時間の超過勤務のなかで離職していく問題を労働団体と一緒に解決していきたい」と、協力を要請しました。

つづいて齋藤訓子常任理事が、診療報酬に関する取り組みとして「平成 22 年診療報酬改定に向けた本会の要望」を解説。入院基本料の要件である平均夜勤時間数（72 時間）などについて、労働組合の立場から意見をいただきました。

また、最後に小川忍常任理事が「今後も確保定着の推進や労働問題の解決に向けて、意見交換の機会をいただきたい」と要請し、今後も「意見交換会」として情報や意見の交換・共有の場を持っていくことを確認しました。

### ■ 参加した労働団体

日本労働組合総連合会（連合）、保健医療福祉労働組合協議会（ヘルスケア労協）、全日本自治団体労働組合（自治労）、日本医療労働組合連合（医労連）

（引用：日本看護協会：戦略プロジェクト広報 FAX リリース NO.37 2009 年 11 月 20 日付より）